『県民大會』準備進む

生活と権利を守るため

23日 大丸デパート廣場で

「生活と権利を守る県民大行進」を各地区毎に組織、各々の要求を出し合つて討議し全体の要求とし前進する毎に雪ダルマ式に組織を拡大、南、北より福岡に至り、県総評の主催で「生活と権利を守る県民大会」を実施し、その中で要求を出し合い、全部が理解した上に立つて、知事との交渉に持ち込み、この要求の貫徹を期そうと云うのがねらいで次の通り着々準備が進められている。

一、県民大会
日時　七月二十三日午後一時―二時半
場所　福岡市大丸デパート北側広場
動員　各地区より自転車隊
福岡市及び周辺より動員部隊
知事交渉　午後三時、県庁内
交渉団は幹事会員の他、運動の進展の中で代表を決定して行く

二、県民大行進
イ、各地区は最大限の動員を行い、体制を早急に確立すること
ロ、行進出発から大会場到着まで
出発大会　各地で出発の際簡単なる大会を行う
歓送迎大会　通過地点で行う（十分間程度）瀬高、筑後
合流大会　正式に合流隊を交えた大会（一時間）久留米、南部班団長を決定
自転車修理班　各部隊に適当に配置、全運、全電通担当
医療部　各部隊に適当に配置、全医労担当
連絡部　電話を以て通過点毎に連絡、国鉄、全電通担当
ニュースカー　南部班の先頭には三井三池よりニュースカーを配属す

三、教宣活動
イ、動員の人週に追れて、広く組合員にアッピールする点を克服し、要求を討議する中で、十分に周知せしむること
ロ、地区毎に一般市民向けのアッピールを行うよう努力する

以上が南部班の行動計画の概要で北部班は鞍上を出発し、福岡へ二十三日午後一時に到着する如く同様各地区の合流で膨脹し作る西市長及び市議会に協力を申し入れ出発する。特に本時期を選んだのは去ることについて、組織の圧力をバックに県当局と交渉し、県議会や議会に特に今度の県会には予算の追加提案もされるので、県民の立場からの自治体の民主化を進め、生活と権利を守るため、県に於てなすべき。

三川坑新港地域分会の教宣部では、原子戦争反対のウィーンアッピールの署名運動を開始、たちまち千百五十六票集つた。これは各班長さんを始め組合員家族の人たちの熱心な活動と協力のもとです。原子爆弾は子供だからといつて大人と差別しはしない。私たちも署名させて下さい」また赤ん坊を抱いた母親は「母親はわが子の生命を守る義務があります。赤ん坊の署名を私にさせて下さい」といつて一家を挙げての署名運動が行われた。

しかし中には「署名運動・原子戦争が防げるか？」と疑問を持つ人も何人かいたが、この署名運動が日本だけでなく全世界の平和運動となつて強力に発展し、現実にこの平和勢力が朝鮮とインドシナの戦争を停止させ、戦争の危機を一応防いだことなど話したら納得して気持よく署名し「頑張つて下さい」と激励された。

ある採炭夫の人は「霧島富士を侵略し国民から奪おうとするアメリカこそ原子戦争をもくろんでいる。俺は基地周辺の人たちの必死の闘いのほんとうの状況がしりたい」と語り、またある坑外夫の人は「広島平和大会の八月六日は平和を願う世界の人たちの話合いによつて、世界の平和記念集会となつたこれは各班長さんを始め組合員家族の人たちの熱心な活動と協力のもとです。原子爆弾は子供だからといつて大人と差別しはしない。私たちも署名させて下さい」また赤ん坊を抱いた母親は「母親はわが子の生命を守る義務があります。赤ん坊の署名を私にさせて下さい」といつて一家を挙げての署名運動が行われた。

しかし中には「署名運動・原子戦争が防げるか？」と疑問を持つ人も何人かいたが、この署名運動が日本だけでなく全世界の平和運動となつて強力に発展し、現実にこの平和勢力が朝鮮とインドシナの戦争を停止させ、戦争の危機を一応防いだことなど話したら納得して気持よく署名し「頑張つて下さい」と激励された。

ある採炭夫の人は「霧島富士を侵略し国民から奪おうとするアメリカこそ原子戦争をもくろんでいる。俺は基地周辺の人たちの必死の闘いのほんとうの状況がしりたい」と語り、またある坑外夫の人は「広島平和大会の八月六日は平和を願う世界の人たちの話合いによつて、世界の平和記念集会となつた

坊やの分も私に

お母さんが平和署名

特に今度の県会には予算の追加提案もされるので、県民の立場からの自治体の民主化を進め、生活と権利を守るため、県に於てなすべき。

三川坑新港地域分会の教宣部では、原子戦争反対のウィーンアッピールの署名運動を開始、たちまち千百五十六票集つた。これは各班長さんを始め組合員家族の人たちの熱心な活動と協力のもとです。原子爆弾は子供だからといつて大人と差別しはしない。私たちも署名させて下さい」また赤ん坊を抱いた母親は「母親はわが子の生命を守る義務があります。赤ん坊の署名を私にさせて下さい」といつて一家を挙げての署名運動が行われた。

しかし中には「署名運動・原子戦争が防げるか？」と疑問を持つ人も何人かいたが、この署名運動が日本だけでなく全世界の平和運動となつて強力に発展し、現実にこの平和勢力が朝鮮とインドシナの戦争を停止させ、戦争の危機を一応防いだことなど話したら納得して気持よく署名し「頑張つて下さい」と激励された。

ある採炭夫の人は「霧島富士を侵略し国民から奪おうとするアメリカこそ原子戦争をもくろんでいる。俺は基地周辺の人たちの必死の闘いのほんとうの状況がしりたい」と語り、またある坑外夫の人は「広島平和大会の八月六日は平和を願う世界の人たちの話合いによつて、世界の平和記念集会となつた

廢罐は廣く市民で阻止しよう

發電所休止問題

さきの新聞紙上で港発電の再建案が記載されていたが、過日の電産港分会執行委員会では廃缶対策を決議、緊急に対策を進めるとともに、市議会、市当局及び市民に対し「そうだ〜〜」と声援を送り、その結果、市長は市議会